

## 令和元年度（2019年度）事業計画書

### 1. 概要

ほほえみの森財団は、平成30年6月1日付で内閣総理大臣より公益認定を受け公益財団法人ほほえみの森財団となった。今年度は、公益財団法人としての組織運営をより確実なものとしつつ、地域住民の交流を促進するため新規の活動も含め、環境保全活動の一層の充実を図っていく。

### 2. 事業活動計画

#### (1) 森林等における環境保全活動の主催・実施

昨年度に引き続き、5月11日（土）に「新緑の水辺『巾着田・飯能河原』や名所歩きと飯能・西武の森でツツジの植樹（仮題）」のハイキング・植樹イベントを開催する。イベント開催にあたり、すでに飯能市、奥むさし飯能観光協会、日高市及び日高市観光協会に後援を依頼している。具体的には飯能市、日高市に参加者公募ポスターでの後援名義使用と広報紙へのハイキング参加者募集記事掲載である。

ハイキング・植樹イベント参加者の公募に当たっては、財団HPおよび自治体広報紙、駅掲出ポスター等で地域住民に周知のうえ、広く参加希望者を募集し環境保全の重要性を認識してもらうとともに地域住民の交流を促進する。なお、すでに、飯能市、日高市には広報紙への参加者募集記事掲載を依頼している。

7月上旬には、昨年度に続きホテル観察会を公募により開催する計画である。これは、水田を復元することにより、ホテルの棲む里山の環境の素晴らしさと保全の大切さを参加者に認識してもらうなかで地域住民の交流を促進することを目的としている。

さらに、今年度の新規の取り組みとして、現在、昭和記念公園で実施されている環境学習・体験学習と概ね同様のイベントに参加者公募により、9月頃開催する計画である。これは、地球環境のかけがえのなさやそれを保全することの大切さを体験型イベントを通じて意識してもらうなかで地域住民の交流を促進することを目的としている。

また、参加者に安全・安心・快適に環境保全地域交流活動に参加してもらえるように、イベント時の体調不良者への対応、不測の事態への備えとしての各種保険への加入等、警察、消防、医療、各行政機関への連絡体制と調整を行う。さらに、ハイキングコースのベンチ・交流スペースの整備、マナー看板の設置、間伐や除伐・下草刈りを定期的に行う。

#### (2) 環境保全をテーマにした各種イベントへの出展・協賛

(1)の事業は、ほほえみの森財団が主体となり環境保全地域交流活動を行うものである。これに対し、この事業はさまざまな行政機関や諸団体が実施する環境保全をテーマにした各種イベントに出展し、当財団の活動内容を報告するものである。かかる活動を通じて、環境保全の意義を広く周知し、地域社会における環境保全活動・交流活動の推進をするとともに、青少年の育成や健全な地域社会への発展につなげるものである。

具体的には、環境フェスタ2019（はんのう市民環境会議主催）、ねりま・エコスタイルフェア（練馬区地球温暖化対策地域協議会主催）、西川材フェア（飯能市商工会議所主催）、飯能第一小学校の森林学習（はんのう市民環境会議主催）等においてパネルの展示、パンフレットの配布及び地元小学生に対し里山での間伐・落ち葉掃き等の体験学習のサポートを行う。

### 3. 管理部門

- ・評議員会及び理事会の開催
- ・事務スペースの賃借、リース契約等、財団運営のための適切な事務業務の遂行
- ・業務マニュアル・手順書等の着実な運用
- ・その他官公署等への対応

以 上